

「高校生だけが持つ無形の力」がありました！

引き続き夏の地域活動を振り返っていきます！8月8日には在宅療養班の生徒が「健康長寿で人生を楽しむ会」と小田南生涯学習プラザで開催されたイベントに参加しました。40名以上も地域の方にご参加頂き、班長と副班長が中心となり、生徒で準備した出し物で交流の場を作りあげました。「令和昭和クイズ大会、なんじゃもんじゃゲーム、思い出トーク、ありがとうの木作り」これらの活動を通して、昔話に花を咲かせておられたり、高校生に人生の先輩としてアドバイスを下さる方がいたり、高校生が知らないお話を教えて下さることもあり、笑顔が絶えない空間がありました。1年～3年の看護医療の生徒が協力しての催し。大成功！「年齢や性別を超えてしか得られない学び」があるだけでなく、「高校生にしか作れない空間」を生徒のみんなが生み出してくれました。現在、在宅療養班は、介護現場の実態調査を進め、「介護を受ける側とする側の家族の「孤立解消」のために、高校生にできること」をテーマに探究学習を進めています。その糸口となるような催しでした！あなた達が人を繋いでくれた。有難う。



8月18日には、熊本地震の発生を受けて JR 尼崎駅前で急遽被災地へ送るための募金活動を行いました。急にも関わらず、自分達で警察署へ申請、呼びかけ用の看板作成を行い、1年生～3年生、卒業生含め12名が参加してくれました。道行く方々が募金して下さる際に「ありがとうね。頑張ってるね！私の母校なんです。応援しています。看護医療の卒業生です」と声をかけて下さり、その言葉に勇気を貰いました。2時間で総額25万2153円の募金が集まりました。災害も病気も事故も誰もが当事者。けど、自分もしんどい時に助け合える「人の素晴らしさ」と「高校生が持つ地域を繋ぐ力」を活動で垣間見ました。生徒の皆、有難うございました！また市民の皆様、別紙にて募金の総額と領収書を掲載しております。ご協力どうも有難うございました。



担当者のつぶやき



人の力を数値化する媒体は社会にたくさんあります。その数値は頑張るための指針であり、自身の達成度を測る物差しです。けれど、この夏の間看護医療・健康類型の生徒の活動に帯同する中で、「数値化できない力」を目の当たりにしました。地域イベントでも防災活動でも募金活動でも同じでしたが、「高校生にしかできない、高校生だからこそできる」ことがたくさんあると思いました。学びとは他者がいて初めて成立する。生徒からまた学ばせてもらいました。「高校生だけが持つ無形の力」。次はその力を使って一緒に何をしましょうか？次号では、子ども班、防災班、赤十字のリーダーシップ研修について報告します！乞うご期待。

市民の皆様へ

2026年8月18日（火）JR 尼崎駅で「日本赤十字令和8年熊本地震災害義援金」の募金活動を行わせていただきました。総額で25万2,153円の募金が寄せられました。以下の通り、日本赤十字社に送金いたしました。本当にありがとうございました。

また2026年1月にもJR 尼崎駅で京都大学基金「iPS 細胞研究基金」FOP 明石（全ての難病研究が早く進むよう京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA を応援させていただく募金）に募金活動を行いました。こちらも総額12万3,085円の募金が寄せられました。以下の通り、FOP 明石に送金致しました。本当にありがとうございました。

振替払込会受領証・振替受付票

振替払込請求書兼受領証

①	0	0	1	9	0	3	②
③							④
	6	0	5	9	5	6	
加入者名	日赤令和8年熊本地震 災害義援金						
金額	千	百	十	万	千	百	十
	2	5	2	1	5	3	
依頼人	兵庫県立尼崎 小田高等学校						
料金	0			08-08-24 T501000111 2730 スウチヨ (43205) N94190001			
備考	免除 災害等 義援金						

この受領証は、大切に保管してください。

